

令和元年度第2回庄原市小学校外国語パワーアップ研修会

令和元年11月21日（木） 庄原市立庄原小学校

新学習指導要領を踏まえた小学校外国語の指導方法等について理解を深めるとともに、外国語指導助手（ALT）等を活用した実践的な研修を行い、小学校教員の外国語教育に係る指導力及び英語力の向上を図ることを目的に研修会を行いました。

【公開授業】第5学年 We can! 1 Unit 8 「What would you like? 料理・値段」

授業者 庄原市立庄原小学校 教諭 吉岡 欣哉, ALT Glendy Soriano

本時の目標：家族のために注文したものを書こう。

<指導のポイント>

☆Let's Listen では、ただ答えを聞き取るだけの活動にせず、答えを予想させるなどして児童とやり取りを行う。

☆「What would you like? - I'd like ○○.」の表現に慣れ親しませるため、店員と客の対話の場面であることを意識した見本をT1とT2で示し、実際にやり取りを行う。

☆巻末カードを活用して、家族のために商品を注文するやり取りをする。やり取りをしたことについて英文を書く。書いたものは単元末での発表に活用する。



【講義・演習】「話すこと[やり取り]から書くことにつなげる指導について」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥

○話すこと[やり取り]から書くことにつなげる指導のポイントについて講義・演習や実践交流を行った。

<講義・演習の内容>

- ・書くことの領域の目標について確認
- ・研究指定校の動画を視聴し、話すこと[やり取り]から書くことにつなげる授業の工夫点などについて協議
- ・書くことの指導について、各校で使用したワークシートなどを使って交流



【演習】「英語力向上に向けて（Small Talkの導入について）」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥, ALT Jesse Noe

○Small Talkの導入についてデモンストレーションを行い、その後、参加者がペアで導入場面を考え、発表した。

<Small Talk導入のポイント>

- ・指導者が楽しみながらやり取りを行い、自分自身の思いや考えを話す。
- ・ALTや他の指導者とやり取りの見本を示す。
- ・児童に質問をして対話に巻き込む。



【参加者の振り返りより】

- ・やり取りを重ねることで書く活動が深まると感じた。児童が主体的に取り組めるように、まずはしっかりと表現に慣れさせて不安をなくし、次の活動につなげていきたい。
- ・相手意識のある活動を仕組むことで児童が意欲的に話したり書いたりできると分かった。
- ・「書くこと」の指導は子供たちの意欲の低下につながりやすいので、しっかり話してから書くことや明確な目的をもたせて書くこと等を意識して指導していきたい。
- ・指導者がしっかりとやり取りする様子を示し、児童の興味・関心を高めていきたい。そして児童のやってみようという意欲を高めさせ、コミュニケーションの楽しさを伝えたい。